

## 仕 様 書

## 1 件名

小山工業高等専門学校固定電話通信サービス提供業務

## 2 調達内容

本調達仕様書の適用範囲は、3に示す要件を満たしたサービスを導入するにあたり必要とする全ての作業に関する事項に適用する。

## 3 要件

## (1) 回線設備及びサービス種類

## ① 電話回線設備

現行回線と同等以上のものとする。現行回線は以下のものである。

・1回線 23チャンネル ダイヤルイン 300 番号 (INS1500)

また、現行使用している電話交換機は以下のものであり、これに対応できる物とする。

・富士通 IP Pathfinder S-L 接続インターフェイス：PRI

## ② 通話サービス内容及び付加サービス等

## A 通話品質等

NTTグループが提供する固定電話の通話品質と同等以上の品質を確保できること (FAX利用時も含む)

## B 通話対象

市内電話、市外電話、県外電話、国際電話、IP 電話サービス、携帯電話、FAX 通信が可能であること。

## C 番号ポータビリティ

番号ポータビリティを利用し、現在利用中の番号と原則同一番号を付与すること。

## D 災害時優先電話

登録済み災害時優先電話が確保できること。

## E 緊急特殊番号の利用

NTT 東日本、NTT 西日本が提供している緊急特番及び 3 桁番号のうち、以下の番号の利用が可能であること。

110 番、118 番、119 番、115 番、117 番、177 番

## F 着信者課金サービスへの発信

各社が提供する着信者課金サービスが利用可能であること。

## G サービス構成

商品構成について当調達において、受託者が提供する単一の商品で本仕様に定める全てのサービスの提供を実現できない場合においては、複数商品の組み合わせでも可とする。

#### H 発信電話番号通知

電話番号単位に、通常通知又は通常非通知の選択ができること。

#### I 着信電話番号通知

発信者から電話番号が通知された場合、発信電話番号の表示をする機能があること。

#### J 非通知通話拒否

発信者から電話番号が通知されなかった場合、電話番号を通知してかけ直すよう音声メッセージで応答する機能があること。

### (2) その他

- ① 受注者は、発注者の指示の下、令和7年3月31日までに通信に必要な準備及び処置を行うこととし、当該準備及び処置が終了したときは、発注者の確認を受けること。なお、本仕様に基づくサービスの開始のための準備等に要する費用については、その一切を入札額に含んで提示すること。
- ② 契約期間中に故障・不具合が発生した場合には、代替措置等を含め担当職員と協議し、速やかに復旧すること。当該故障・不具合等が受注者に起因するものであった場合は、契約書に定める事項の外、当該故障・不具合等によって生じた一切の費用を受注者が負担すること。
- ③ 契約する通話単価を適用するために「00XY」（事業者識別番号）が必要な場合（携帯電話への通話等を含む）は、PBX（PBXが設置してある箇所）で付与することとし、設定変更に必要な経費は全て入札額に含んで提示すること。
- ④ 発注者から契約内容等の照会があった場合は誠実に対応すること。
- ⑤ 本仕様に基づくサービスの利用にあたり、現状の電話機の利用方法から原則変更を行わないこと。現状から変更となる場合には、設定費用の一切を入札額に含んで提示すること。
- ⑥ 受注者は発注者から依頼があった場合には、回線ごとに
  - (1)通話先の電話番号
  - (2)通話時間
  - (3)通話区分ごとの料金
  - (4)通話区分ごとの通話数を電子データ（MicrosoftOffice Excel 又は CSV 形式）により提出すること。

### 4 履行場所

小山工業高等専門学校（栃木県小山市大字中久喜771番地）

### 5 契約期間

令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（2年）

### 6 入札書記載事項

#### (1) 入札書

入札書に記載する金額は、基本料金、通話料金、オプションサービス使用料金及び初期導入費用を含んだ2年間の想定金額とする。ただし、いずれの金額も消費税を除いた金額とする。

(2) 入札書別紙明細

入札書別紙明細には初期費用、2年分の基本・オプション料金及び通話料金の内訳及び合計をそれぞれ記入し入札書とともに封入すること。また、総額は入札書に記載する金額と一致させること。

なお、通話予定回数は参考値であり、注文を確約したものではない。

(3) 初期費用

対象回線全ての本仕様書に基づくサービスを提供できる状態になるまでの一切の金額を記載すること。

電話回線供給会社から他社から変更となる場合で、他社に対する利用休止費用を本校の負担とする場合は、その費用も計上すること。

(4) 月額基本・オプション料金

本仕様書に基づき、対象回線全ての月額固定料金を入札書別紙明細に記載すること。ただし、ユニバーサルサービス料は記載しないこと。

なお、NTT回線を利用する場合においても、NTT回線基本料金（回線使用料、付加サービス使用料金、屋内配線使用料金、回線接続装置使用料等の合計額（月額））を加算すること。

(5) 通話料金

通話料金は、入札書別紙明細に記載の通話予定回数、平均通話時間を用いて算定すること。

算出方法は、通話予定回数、平均通話時間に単価を乗じた額の合計とする。金額に小数点以下第1位未満の端数がある場合は、その端数を切り捨てるものとする。

なお、単価は小数点以下第2位まで記載すること。

①市内通話

区域内通話単価とする。

②県内市外通話

同一県内の区域に終始する通話のうち上記「①市内通話」以外のものの単価とする。

③県外通話

国際通話を除く県外への通話単価とする。

④携帯電話

携帯電話会社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル）への区域内通話単価とする。

⑤050IP電話

050から始まる電話番号を持つIP電話への通話単価とする。

⑥国際電話

通話実績が無い場合、入札の際には考慮しない。なお、契約単価は落札者の標準単価とする。

(6) その他

ユニバーサルサービス料以外は仕様書等を満たすために要する経費はすべて入札金額に含めるものとする。

また、期間を区切ったキャンペーン等の価格は対象としないこと。契約中はすべて同額の価格にてサービスを提供すること。なお、天災その他真にやむを得ない事情により料金を変更する場合にあっては、発注者に説明し、その承諾を得た後でなければ変更できない。

7 仕様書の疑義

- (1) 本仕様書に指定され、又は指示された事項等に疑義が生じた場合は、直ちに発注者へ申し出て、協議のうえ決定するものとする。
- (2) 本仕様書に示されていない事項であっても、当然必要と認められる事項は速やかに発注者へ連絡のうえ、指示を受けて受注者の責任において施行するものとする。

8 その他

- (1) 本役務の履行に伴い、不要となる既存サービスの解約等手続きが発生した場合について受注者は発注者に協力すること。

予定年間通話階数・平均時間

通話区分	距離区分／通信先キャリア	通話予定回数	平均通話時間
市内通話		5,125 回／月	80 秒
県内市外通話	隣接・20km以内	506 回／月	159 秒
	20～30km	2,003 回／月	98 秒
	30～60km	112 回／月	150 秒
	60～100km	102 回／月	184 秒
	100～170km	0 回／月	0 秒
	170km超	0 回／月	0 秒
県外通話	隣接・20km以内	370 回／月	108 秒
	20～30km	67 回／月	159 秒
	30～60km	440 回／月	190 秒
	60～100km	1,931 回／月	195 秒
	100～170km	249 回／月	242 秒
	170km超	575 回／月	216 秒
携帯通話	株式会社 N T T ドコモ	1,780 回／月	175 秒
	K D D I 株式会社	656 回／月	175 秒
	ソフトバンク株式会社	655 回／月	129 秒
	楽天モバイル株式会社	0 回／月	0 秒
050IP電話		93 回／月	279 秒